

みんなで学んだ宿泊研修

校長 松澤 朗

5月末から6月中旬にかけて、各学年とも事前の取り組みから声を掛け合い、頑張って取り組みました。1年生は旭高原研修、2年生は小浜漁村体験、3年生は長崎平和学習と各学年は、事前の取り組みから仲間と協力していました。

各学年のスローガンは、次のものです。1年生は「TKK」、2年生は「RAINBOW color・smile・sky」、3年生は「ナガサキ」と自分たちで願いを込めて決めて、事前の取り組みから、大切に頑張ってきました。それぞれに、成果をあげて帰ってきました。また課題もあったことでしょう。折角行ったのだから、普段の生活に活かしていきたいですね。



尚、今回はツイッターを活用しませんでした。今後は、学校のHPに順次アップロードしていくようにします。

団結、信頼・友情を築く7月、8月、9月に向かいます。

5月、6月の取り組みで生徒たちは、自分の責任の自覚や仲間とともに集団の生活や行事を築いていくことの価値や喜びをつかんできていると思います。今後は、仲間同士の団結をより一層求め、信頼や友情を高め、温かい人間関係を築いていくことを目指してほしいと思います。仲間と活動することの素晴らしさと大切さを学習する時と考えます。体育祭への取り組みが中心となります。しかし、その前に夏休みがあります。今までの成果と課題をそれぞれが明らかにし、休み明けに向かう自分を創る夏休みにしてほしいと考えます。三者懇談での内容も振り返って、1年生「最後までやりきる夏休み」、2年生「自分に挑戦する夏休み」、3年生「後がない勝負の夏休み」にしてくれることを願っています。そして、さらなる成長を期待します。

「家庭の日」の取り組み

教育推進課

岐阜県では、昭和42年に岐阜県家庭の日を定める条例を制定し、毎月第3日曜日を「家庭の日」と定め、今日まで「心豊かで明るい家庭」づくりを推進してきました。

また、近年子どもたちを取り巻く環境が多様化していることに鑑み、平成26年12月に岐阜県家庭教育支援条例を制定し、各家庭における家庭教育への自主的な取り組みを促し、社会全体で家庭教育を支えようとする機運を醸成することで、より一層子どもたちが健やかに成長できる社会づくりを目指しています。

家庭は、ふれあいと安らぎの場であるとともに、青少年の人格が形成される基盤です。また、人との関係のあり方や社会のルールを学ぶ場でもあります。

これらのことを家庭や地域が再認識し「心豊かで明るい家庭」づくりを進めることが望まれています。「家庭の日」をきっかけにして、家庭の大切さや家族のありがたさについて見つめ直してみましよう。

(岐阜県の配付チラシより)